

基礎教育カリキュラムのための予備調査(3)

- 調査からみた家政系短大学生の特色② -

○清瀬尚子* 雑賀文香** 中村博幸*³ 永藤清子* 竹田美知*⁴
(* 甲子園短大, **大阪女子短大, ³京都文教短大, ⁴相愛女子短大)

〔目的〕家政系短大における基礎教育カリキュラムを作成するために”新しい学生像“を探るアンケートを行った。今回は、高校家庭科及び家政系学部における男女共学に関する意識、家政系短大で学んでよかったことや学びたいと思っていることを中心に家政系短大学生の特色を報告したい。

〔方法〕○時期 1996年5月上旬～7月中旬 ○方法 調査用紙配布(B4版4枚23欄), 無記名
○対象 8短期大学(東京3, 大阪2, 愛知、京都、兵庫各1)の家政系女子学生1年生 約1,000人 2年生 約700人 計約1,700人

〔結果〕○高校家庭科の男女共学について…対象学生は男女共学で履修していないが、男女で学ぶことについては、「違和感を感じる」が2割足らずに対して「当然だ」と感じる者が5割近くいた。また、4割が「女性のために良い」、8割以上が「男性のために良い」と答えている。○家政系学部の男女共学について…4割以上が男女共学の家政系大学の存在を知っており、3割が「当然だ」、7割が「男性のために良い」と感じている。男女共学にしている理由についての自由記述欄には、「男女平等の時代だから」「男性にも家事能力は必要」「相互理解のため」「男性にも学ぶ権利があるから」「家政系の職業に就く男性もいるから」など様々な回答が見られた。○家政系短大で学んでよかったことや学びたいと思っていることについて…具体的に自由記述させた。「料理や栄養」「育児」「生活に役立つこと」などの家事的な内容をあげる者が多かったが、「栄養士になれる」といった資格に関する科目や内容、「家政の専門知識」「一般教養」「人間関係」「実習」という回答も見られた。